



石垣島・琉球弧を戦場にするな！基地＝標的にされる危機感を訴える



▲ 郡山医療生協多目的ホールにて

1月29日の「基地いらない！チーム石垣島」上原正光さん講演には六十人が参加した。

島では19年3月に自衛隊基地の建設が始まった。上原さんは自費で購入したドローンで空撮し、工事の実態を伝えてきた。最も近い住宅から最短で300メートル余の場所に弾薬庫ができ、1キロ先には小学校もある。射撃場も近くにある。爆発が起きたときにどう対処するのか、と強い危機感がある。

防衛省は、「台湾有事に備える」として、沖縄で自衛隊の新たな部隊の設置や増強を続けてきた。与那国島や宮古島でも住民が自衛隊基地への反対の声を上げ続けている様子を動画で紹介。基地のある所は標的とされる可能性もある。島民の避難やシェルターづくりも語られて

いるが、実際には島民はどこにも逃げる場所はない。沖縄戦では四人に一人の島民が亡くなった。また、同じ緯度にある硫黄島では日米軍双方で数万人が戦死し、今は自衛隊基地となっていて旧住民は帰れない。「ヤマト（本土）の人たちともつながりをつくり具体的に前に向かって行動したい」と呼びかけた。

この郡山での講演の前日には小名浜で全港湾、いわき自由労組、小名浜地区労の労働者との学習交流会がもたれ、30日には川崎で、さらに31日には静岡の市民集会で講演した。

石垣島への自衛隊ミサイル部隊570人の配備は3月に始まり、沖縄本島、宮古島、与那国島と軍事要塞列島になる。今こそ、「本土」からも声を上げる時だ。

最高裁へ!
東電刑事裁判控訴審判決 報告集会

2月12日(日) 14時▶16時
郡山ビッグアイ7階 市民交流プラザ 大会議室
(郡山駅西口すぐ)

主催 福島原発刑事訴訟支援団 問合せ info@shien-dan.org 080-5739-7279
内容 海渡雄一弁護士・大河陽子弁護士の判決報告 傍聴者のスピーチなど
無料 ※集会の動画を後日公開します。YouTube支援団チャンネルをご覧ください

第37回ミナセンなかどおり相談会
2月13日(月)午後1時半～
郡山医療生協多目的ホール
★敵基地攻撃能力保有・大軍拡、
生活危機の中での増税、
汚染水放出反対のとりくみ等